

子どもの医療費助成制度—今年8月から

小学校3年生まで拡大へ

予算化

署名提出、要請行動
…市民世論と運動の成果

医療費助成の拡充を求める市民運動や署名、要請行動の取り組みは、党派を超えた多くの議員を動かし、さらなる制度拡充を実現します。

今年2月9日、市議会全員協議会では、「H22年度、県の取組みに沿って、8月から、現在の通院対象を、就学前児童から小学校3年生まで引き上げる」との説明がありました（入院は現状維持、裏面参考）。市民の世論と運動で勝ち取った貴重な成果です。

所得制限・窓口負担をなくし、

中学3年生まで拡大を

ところが流山市では、通院の対象年齢拡大とセツトで、小学校1～3年生には所得制限導入、窓口負担を200円から300円に、100円値上げするというのです。所得制限しない場合の市負担額は年間1300万円。H22年度一般会計予算の0.3%分のやりくりでできる仕事ですから、あまりに姑息なやり方です。

『子育てするなら流山』と市民が実感できるように、所得制限も窓口負担もなくし、入院・通院とも中学3年生までの制度拡充へ一緒に力を集めましょう。



『子育てするなら流山』と市民が実感できるように、所得制限も窓口負担もなくし、入院・通院とも中学3年生までの制度拡充へ一緒に力を集めましょう。



日本共産党市議会議員

小田桐たかし

子ども医療費助成事業予算(案) 内訳概算	
全体事業費 予算	2億8784万円
うち県費	1億970万円・市費1億7814万円